

平成27年度HW総合評価主要三指標進捗状況(中間報告)

福島労働局職業安定課

		福島	平	会津若松	郡山	白河	須賀川	相双	二本松	局計
就職件数 (常用)	年度目標(件)	6,814	7,242	5,983	7,158	2,628	2,852	2,569	1,775	37,021
	第1三半期目標(件)	2,621	2,839	2,271	2,760	1,045	1,103	965	684	14,288
	第1三半期実績(件)	2,386	2,474	2,144	2,354	948	1,041	861	578	12,786
	第1三半期達成率(%)	91.0	87.1	94.4	85.3	90.7	94.4	89.2	84.5	89.5
	年度目標に対する進捗率(%)	35.0	34.2	35.8	32.9	36.1	36.5	33.5	32.6	34.5
充足件数 (常用)	年度目標(件)	6,877	6,873	5,589	7,290	2,582	2,338	2,901	1,756	36,206
	第1三半期目標(件)	2,642	2,676	2,138	2,918	1,026	887	1,138	674	14,099
	第1三半期実績(件)	2,427	2,347	1,985	2,503	866	854	958	552	12,492
	第1三半期達成率(%)	91.9	87.7	92.8	85.8	84.4	96.3	84.2	81.9	88.6
	年度目標に対する進捗率(%)	35.3	34.1	35.5	34.3	33.5	36.5	33.0	31.4	34.5
雇用保険受給者の早期再就職件数 (数値は1ヶ月遅れ)	年度目標(件)	1,563	1,693	1,074	1,857	605	592	496	530	8,410
	4月～6月目標(件)	486	466	317	569	170	160	162	173	2,503
	4月～6月実績(件)	405	501	335	530	163	177	179	180	2,470
	4月～6月達成率(%)	83.3	107.5	105.7	93.1	95.9	110.6	110.5	104.0	98.7
	年度目標に対する進捗率(%)	25.9	29.6	31.2	28.5	26.9	29.9	36.1	34.0	29.4

実施状況

福島	就職件数	<p>求職者担当者制の実施。実施に当たっては、新規求職者に対し行ったアンケートに基づき対象者を選定し、支援を行った。また、求職票入力項目の完全記入、手書き文字のデータ変換の徹底及び初回相談の充実を図った。求職票入力項目の完全記入等については、点検、点検結果のフィードバックを行った。</p> <p>求職者担当者制では、対象求職者数が目標を大きく下回ったが、就職件数は目標を若干下回るにとどまった。求職票の記載等はほぼ達成されている。</p> <p>求職票の記載、初回相談時の記録の充実を継続するとともに、対象求職者の選定方法を再検討する。</p>
	充足件数	<p>求人充足会議の開始、職員による事業所訪問、事業所画像情報の収集と活用、ミニ面接会の開催、求人票入力項目の完全記入の徹底等、早期充足に向けた取り組みを行った。</p> <p>ほとんどの取組みが100%を超える達成となった。求人充足会議をほぼ毎日開催し、充足に向けたフォローアップでは重点フォロー求人を選定し所内共通の取組みを行うなど、情報の共有に努めた。事業所訪問・画像情報収集では、求人票以上の情報収集に努め、ハローワーク職員からの提案によるマッチングにつなげていった。</p> <p>各種取組みを継続するとともに、情報を共有することで一体的な取り組みに努める。</p>
	雇用保険受給者の早期再就職件数	<p>就職支援ナビゲーターによる担当者制等就職支援の実施。各種セミナーの開催及び積極的な受講勧奨、初回講習会の充実等、早期再就職に資する取組みを実施した。</p> <p>求職申込み、初回講習、初回認定時の職業相談において早期再就職のメリットを説明。担当者制による個別支援の活用の勧奨を実施し、認定日には求人情報の提供を徹底した。</p> <p>早期再就職支援コーナーのほか各種支援コーナーでも就職支援セミナーを実施し、多角的な受給者支援を行った。</p> <p>引き続き継続的なセミナー開催、早期再就職に係る支援の充実を図る。</p>
平	就職件数	<p>求職者担当者制による指導援助及びハローワーク職員からの提案によるマッチングを推進しており、きめ細やかな職業相談を実施している。</p> <p>職業紹介時において実施している紹介求人に対する採用可能性の見立てについては、現時点では採用可能性が低いと見立てた場合、求職者に対して採用可能性を高めるための支援として、応募書類(履歴書、職務経歴書等)の作成支援、及び希望条件に沿った求人の提示などにより提案型紹介を推進している。</p> <p>今後も求職者担当者制の支援対象者の拡大を図り、きめ細やかな職業相談・紹介を行うことや、採用可能性の見立てにより正確な求職者ニーズの把握による能動的マッチングを推進し就職促進につなげる。</p>
	充足件数	<p>受理した求人の早期充足を目的に実施している「求人連絡会」(毎日実施)や「未充足求人フォローアップ会」(毎週水曜日実施)において、求人部門及び職業相談部門での情報共有によりマッチングを推進し来所勧奨による紹介を行い充足に努めている。</p> <p>また、「仕事内容」欄の詳細記入によるわかりやすい求人票の作成や、事業所の風景、作業状況を写した画像情報を求職者に提供することにより、具体性を帯びた職業相談を行ったうえでの職業紹介により充足に努める。</p>

	雇用保険受給者の早期再就職件数	就職意欲の高い等の求職者に対し早期再就職支援コーナーで「就職支援プログラム」を実施し、早期再就職の働きかけを実施。また、受給者全員に対し、雇用保険説明会時に「初回講習」を実施し、各種資料により早期再就職へのポイント等の説明を行った。加えて、「再就職手当活用目安表」により再就職手当の金額や活用可能時期の具体的提示、再就職支援セミナーへの受講勧奨により再就職意欲の喚起を行った。今後は、上記の各種取組が効果的であることから、継続して取り組みを進める。
会津若松	就職件数	求職者担当者制やミニ面接会の開催等により求職者の就職促進に努めた。新規求職者数が前年同期より397人減少したことや在職求職者の割合が増加したことも就職件数減少の要因の一つと思われる。求職者が減少傾向にあるため、求職者への個別支援(求職者担当制や個別求人開拓等)を強化してハローワーク職員からの提案によるマッチングを進め、また、紹介スキルの向上によりマッチングの精度を高め、さらなる就職促進を図る。
	充足件数	事業所画像情報の収集、求人・紹介部門の連携(互恵の輪プラン)等によるわかりやすい求人票の作成や、求人充足会議の充実等により、求人の充足促進に努めた。新規求人数が前年同期より417件増加しているのに対して、新規求職者数が397人減少したことも充足件数の減少の要因の一つと思われる。求人数が引き続き高水準で推移し求職者が減少しているため、事業所訪問や求人条件緩和指導等を積極的に行い、求職者ニーズに即した正社員等の魅力ある良質求人の確保、ハローワーク職員からの提案によるマッチングに努め、さらなる求人の早期充足を図る。
	雇用保険受給者の早期再就職件数	再就職支援セミナーの開催や、認定日全員相談、給付制限期間中の職業相談、早期再就職支援コーナーによる担当者制での支援等により、雇用保険受給者の早期再就職促進に努めた。受給者が前年同月比で3.3%減少している中で、就職支援ナビゲーターを中心に担当者制等の手厚い支援や認定時における積極的な求人情報提供等により雇用保険受給者の早期再就職が促進された。各種取組の効果が表れているので、今後も継続して早期再就職意欲を喚起し、個別支援・ハローワーク職員からの提案によるマッチング等により、雇用保険受給者の早期再就職促進を図る。
	就職件数	求職者の求職条件を的確に把握し、就職に繋げるため、日々求職票の記入内容を確認し求職申込書項目の完全記入を実施した。日々来所する求職者に対しては、きめ細かな職業相談、適合する求人の選定、職業紹介を行った。「わかもの支援コーナー」では45歳未満の対象者に対して、職業相談、応募書類作成、面接助言、職業紹介の一貫した支援を実施した。第1三半期の就職件数(常用)は目標2,760件に対し実績は2,354件となった。第2三半期は、不採用の続く求職者には不採用の要因に対応した各種支援サービスを提案し、求人とのマッチングを強化し就職件数の増加を目指す。また、介護、看護、建設の有資格者で求職無効となった方に対して、適合する求人情報一覧を送りハローワークへの来所及び保有資格を活かせる求人への応募を促す。

郡山	充足件数	<p>求人受付担当者が求人受理時、訪問時に所独自リーフレットを活用し画像情報集の周知勧奨を実施し、画像情報を収集した。また収集した画像情報はハローワークシステム求人検索機に取り込み、求人検索機利用者に画像情報を提供し、また画像情報は求人票とセットで庁舎掲示板に掲載した。日々「求人充足会議」を開催し、充足会議で選定した求人は正社員求人等を中心に、適合求職者に対して、郵送による提供、窓口来所時の提供を行った。充足件数(常用)は目標2,918件に対し実績は2,503件となった。第2三半期は、求人受理後の事業所あて連絡文書に「画像収集の周知文言」を記載し、引き続き積極的画像情報収集に取り組む。また、収集した画像はハローワークシステムの求人検索機に取り込むと共に、1週間から2週間以内のサイクルで、求人票とセットで庁舎掲示板に掲載し充足件数アップに取り組む。</p>
	雇用保険受給者の早期再就職件数	<p>雇用保険受給者の早期就職を図るために、早期再就職希望者は「早期再就職支援コーナー」に誘導し、担当予約制による職業相談、求人情報提供、紹介を実施した。また、雇用保険受給者は局主催セミナー、所独自セミナー(応募書類作成、面接対策)、ビデオセミナー(自己分析、応募書類と面接対策)への積極参加を促した。雇用保険受給者の早期再就職件数は目標741件に対し4月から6月の実績は530件となった。第2三半期は、「早期就職支援コーナー」での対象者の担当予約制による支援を引き続き実施する。また、局主催セミナー、所独自のセミナー、ビデオセミナーに雇用保険受給者を積極的に誘導し、早期再就職を促進する。</p>
	就職件数	<p>「情報提供の拡充(目標値800件、実績1,094件)」「きめ細やかな職業相談」「担当者制による職業相談」等により就職件数目標値1,045人に対し948人が就職し、達成率は90.7%であった。引き続き精度の高い求人情報提供を目指し、就職に結びつく丁寧な職業相談を行い、就職件数の目標達成に向け取り組む。</p>
白河	充足件数	<p>「未充足求人のフォローアップ」「慢性的人手不足状態の介護職に対するミニ面接会」「正社員求人の確保」「求人票以上の情報収集」を柱に取り組んだ。特に「未充足求人のフォローアップ」は、応募者のない求人に対し、条件の見直し・求人票記載の充実を提案することにより、フォローアップした求人の27.0%が充足(一部充足含む)した。「正社員求人の確保」については、今までハローワークを活用していない事業所にも積極的にアプローチを図り正社員求人の拡大に努めた。その結果、充足件数目標値1,026人に対し866人が充足し、達成率は84.4%であった。着実に効果を上げていることから、引き続き目標達成に向け取組の強化を図る。</p>
	雇用保険受給者の早期再就職件数	<p>求職者のニーズを把握し、「情報提供の拡充」「担当者制による職業相談」「再就職セミナーの受講促進」等に取り組んだ。特に再就職セミナーについては目標とした受講率各コース平均95%以上に対し100%以上の受講率となり、就職に対する意欲の向上につなげることができた。その結果4月から6月の早期再就職件数は、目標170人に対し163人となり達成率95.9%となった。今後も引き続きセミナー受講を勧奨するとともにきめ細やかな職業相談に努め受給者の早期再就職に向け取り組む。</p>

須賀川	就職件数	マッチングと情報提供、雇用条件と能力に適合した紹介(適格紹介)を意識した取り組みを積極的に行った。特に、求人充足会議の開催方法の見直しと各担当者が情報提供内容、応募状況を管理票により個別管理することで、より積極的なマッチングと情報提供を行うことができた。今後は、紹介件数が減少していることから、求職者ニーズ・緊要度を的確に把握し支援対象者の絞り込みを行い、このことを求人担当者と求人充足会議で情報共有し、マッチングの精度向上を図り、紹介件数の増加と紹介成功率の向上につなげて就職件数の増加を図る。
	充足件数	仕事内容を詳細に伝えられるよう福利厚生施設を含めた画像情報の収集を行い、庁内に求人票とともに掲示するなど見せ方の工夫を行った。また、求人開拓は、充足可能性を意識し、接触事業所を充足率の高い製造業と正社員求人に重点をおいて取り組みを行い良質求人の確保に努めた。この他、求人充足会議を5月中旬より毎日開催に変更し、前日受理の良質求人と求職者のマッチングを行い早期充足に効果を上げている。今後も、これまでの取り組みを継続する他、未充足求人に重点を置いたフォローアップを強化し、充足数の増加を図る。
	雇用保険受給者の早期再就職件数	初回講習時に早期再就職メリットの説明、求職者担当制による支援、再就職セミナーの受講勧奨を行い早期再就職の意欲喚起を図ったほか認定日と給付制限中の来所勧奨相談時にマッチングと情報提供を積極的に行った。8月以降、企業整備離職者の発生により受給者の増加が見込まれるため、受給資格決定時や初回認定日において受給者の状況を的確に把握し、マッチング等の支援を積極的に行う。また、今後、就職面接会等の実施を予定しており、雇用保険受給者への参加勧奨を積極的に行い早期就職決定につなげる。
相双	就職件数	平成27年度第1三半期における就職件数については、求職者担当制による求人情報の提供、事業所ミニ面接会、再就職支援セミナーの開催など求職者への支援策を積極的に実施したが、新規求職者数が前年度比で、▲4.3%、新規求人数が▲12.0%減少するなどの影響もあり、目標の965件に対して861件にとどまった。今後は求人開拓などによる正社員求人の確保や新たに事業所の見学会も開催するなど、さらなる支援に努め、目標の達成に向けた取組を強化していく。
	充足件数	平成27年度第1三半期における充足件数については、求職者担当制による求人情報の提供、事業所ミニ面接会の開催、求職者がイメージし易くするための事業所画像の収集と提供を行い、求人票の内容の充実に努めるなど、求人充足を進めるための取組を実施したが、新規求職者数が前年度比で、▲4.3%減少するなどの影響もあり、目標の1,138件に対して958件(達成率84.2%)の実績にとどまった。今後は、ミニ面接会や事業所画像情報の収集などの取組のほか、事業所の見学会も併せて開催するなど、求人充足に向けた取組を強化していく。
	雇用保険受給者の早期再就職件数	平成27年度第1三半期における雇用保険受給者の早期再就職件数については、求職者担当制による求人情報の提供、再就職支援セミナーへの勧奨、再就職手当の周知などに積極的に取り組んだ結果、目標である162人を超える179人が早期に就職し、目標を達成することができた。今後も雇用保険の認定日には、最新の求人情報を提供するなどの取組を継続し、雇用保険受給者への支援を強化していく。

二本松	就職件数	<p>目標差が▲106件と未達成となった原因としては、今期の新規求職申込件数は1536件(前年同期1582件)で前年同期比▲2.9%、有効求職者数は5740件(前年同期6173件)で前年同期比▲7.0%と全体的に登録者数の減少に伴い、紹介件数が伸び悩んだことが一因であるが、今後は引き続き求職者の掘り起し(特に有資格者)や、求人検索機利用のみの求職者に対し、登録の呼びかけや相談窓口への誘導等を行い更に効果的なマッチングを図り、紹介成功率のアップを目指す。担当者制については対象者37名中22名が紹介就職と59.5%の就職率と全体から見てもかなりの高確率のため今後はさらに対象者を拡大し支援を推し進める。また、ミニ企業説明会・就職面接会については、効果が見られたことから今後毎月1回の開催を目標とする。</p>
	充足件数	<p>充足可能性が高い求人である正社員求人の掲示板への掲示や職業紹介部門との情報共有してマッチングを図り、目標設定した充足件数を目指したが進捗状況は552件(31.4%)であり、目標は達成出来なかった。状況分析としては新規求職者の減少に伴い、有効求職者も併せて減少傾向が続き、紹介件数自体も減少するなど正社員求人はあるものの充足件数が伸び悩んだ。また、求人条件の緩和についても人手不足である建設業や運輸業を中心に即戦力を求めることが多く、免許・資格や経験の緩和指導に苦慮した。就職希望者の多い、製造業や事務職の求人開拓を重点的に行い、常用求人の充足を図る。また、ミニ企業説明会・就職面接会を継続実施して目標達成を目指す。</p>
	雇用保険受給者の早期再就職件数	<p>雇用保険受給資格決定の受付時に本人の希望条件を詳細にわたり聞き取りし、求職票の内容の充実とともに所内で統一された求職管理情報の入力により、本人のニーズや特性・問題点を把握し、次回以降の相談や郵送・電話等の情報提供が効果的になるよう努め、初回説明会においては失業の長期化によるデメリットなど早期の就職意欲の喚起になる内容とし、初回認定では、求人検索を一緒に行い紙媒体で求人情報を提供したことが効果的であった。給付制限中には任意の来所勧奨日を設けることによって就職意欲の喚起に努めることができた。これらの内容は効果的であることから今後も継続していく。</p>
福島労働局	就職件数	<p>年度目標に対する進捗率34.5%。第1三半期目標値に対する達成率89.5% 新規求職者が前年同期比2000名近く減少し、就職件数も1000件程度減少した。目標達成に向け、求職者担当者制は個々の求職者のニーズを詳細に把握しマッチングの効果的な取組みができるため、今後も引き続き積極的に取り組んでいく。また、キャリアコンサルティング研修を実施し職員の資質向上を図る。</p>
	充足件数	<p>年度目標に対する進捗率34.5%。第1三半期目標値に対する達成率88.6%。 目標達成に向け、求人充足会議の充実を図り求職者ニーズの高い正社員求人・製造業求人の確保、事業所画像情報の収集、ミニ面接会の実施によりマッチングの強化に努める。</p>

雇用保険受給者の早期再就職件数

年度目標に対する進捗率29.4%。4月～6月目標値に対する達成率98.7%。
目標達成に向け、就職意欲の喚起と就職活動の知識・技能の習得を目指す再就職セミナーの受講勧奨を引き続き進め、また、雇用保険受給者の給付制限中の職業相談の来所勧奨を積極的に進める。